様式第21号

火 災 損 害 申 告 書

年　　月　　日

　消 防 署 長 様

申告者　住所

職業

氏名

電話（　　　　）　　　－

　　火災の損害を次のとおり申告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| り災日時 | 年　　月　　日　　時　　分ごろ | り災物件と申告者との関係 |
| り災場所 | 　 | 所有者　 管理者 　占有者 |
| 世帯員 | 続柄 | 氏　　名 | 生 年 月 日 | 続柄 | 氏　　名 | 生 年 月 日 |
| 本人 | 　 |  |  |  |  |
|  | 　 |  |  |  |  |
|  | 　 |  |  |  |  |
| り災前建物詳細 | 建築年月 | 年　　　月 | 修　繕　年　月 | 年　　　月 |
| 購入年月 | 年　　　月 | 増改築年月 | 年　　　月 |
| 建築金額 | 円 | 修繕金額 | 円 |
| 購入金額(土地代除く) | 円 | 増改築金額 | 円 |
| 用途 | 構造 | 階数 | 屋根 | 外壁 | 建築面積 | 延べ面積 | 居住者内訳 |
| 世帯数 | 人員 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| り災建物 | り災区分 | 焼　き　　・　　消　火　　・　　爆　発　　 |
| り災状況　 |
| 火災保険 | 契約会社 | 契約の種別 | 契約年月 | 契約保険金額 |
|  | 不動産・動産 |  |  |
|  | 不動産・動産 |  |  |
|  | 不動産・動産 |  |  |
| 摘　　要 |  |
| ※受　付　欄 | ※火 災 番 号 | ※備　考　欄 |
|  | 　　　年　号火災 |  |

**注意事項**

１　この申告書は、火災による被害財産の調査のため消防法第３４条第１項に基づいて提出を求めるものです。

２　建物がり災したときは１棟ごとにこの申告書を作成してください。

３　※欄は記入しないでください。

４　この申告書は、り災した日から**７日以内**に提出してください。

５　虚偽の申告をされたときは、消防法の規定により罰則を受けることがあります。

**記入要領**

１　消防署長の前に（三原・三原西・世羅）のいずれかを記入してください。

２　り災日時

　　　火災が発生したと思われる日時を記入してください。

３　申告者の職業は、具体的に記入してください。

例：会社員（〇〇会社）、公務員、自営業（○○店）など

４　り災物件と申告者との関係：〇をしてください。

　　　所有者　その建物や土地を法律上の権利として「持っている人」。

例：建物の名義人、不動産登記上の所有者。

　　　管理者　実際に建物や土地を「管理・維持している人」。

例：管理会社、大家さん、マンションの管理組合。

　　　占有者　→ その場所を「実際に使っている人」。

例：お店の店長、借りて住んでいる人、事務所の使用者。

５　世帯員は、同居人も含めて記入してください。

６　り災前建物詳細欄の建築年月、建築面積及び延べ面積は、登記簿などで確認し、

記入をお願いします。金額は概算でも構いません。

７　り災前建物詳細欄の言葉の意味は、次のとおりです。

　　「用途」：住宅、物置、店舗等など

「構造」：木造、軽量鉄骨造、鉄骨造、RC造など

「階数」：２階・平屋など

「屋根」：瓦、スレート、トタン、ガルバニウムなど

「外壁」：モルタル、サイディング、ALC、漆喰、スレートなど

　８　り災区分欄で、焼き・消火・爆発・その他の意味は次のとおりです。

「焼き」 燃えたもの、熱で壊れたもの、煙で汚れたもの。

「消火」 消火の水で濡れたもの、消火のために壊れたもの。

「爆発」 爆発により壊れたもの。

９　り災状況には具体的に燃えた場所などを記入してください。

　　例）住宅１棟全焼・台所一部焼損・和室の畳1枚焼損

10　建物以外の物品は、別紙り災物品一覧表に記入してください。

11　その他不明な点がありましたら、最寄りの消防署までお問い合わせください。